

1. 都民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため取るべき措置

(1) 高齢者の特性に配慮した医療の確立提供 <病院> 目標値:29年度平均在院日数16.5日

ア. 三つの重点医療の提供体制の充実

- 重点医療に係る関連診療科の集約化（「センター制」）による、安心かつ効果的な医療の提供
- 重症心不全患者への補助人工心臓治療や脳梗塞に対する超急性期治療の提供など、高度・専門医療の提供  
<血管病医療>
- 部位別がん診療連携協力病院としての専門的がん医療や緩和ケア医療の提供など、がん医療の一層の充実  
<がん医療>
- 認知症疾患医療センターとして、地域をはじめとする認知症医療への貢献  
<認知症医療>

(年度計画で予定する主な取組)

- ・関連診療科の一体的配置による患者負担の軽減と診療待ち時間の短縮
- ・検査機能の集約化による入院前の効率的な検査の実施
- ・補助人工心臓治療や和温療法、急性期脳血管内治療など、高度・専門医療の提供
- ・患者に適した医療の提供のための各種施設認定の取得
- ・患者・家族に対する専門相談の実施
- ・新たな部位別がん診療連携協力病院の認定取得
- ・多職種からなる緩和ケアチームによるコンサルテーション
- ・高度医療機器を活用した適確な鑑別診断
- ・患者・家族、地域の医療・介護機関等を対象とした専門相談の実施

エ. 地域連携の推進

- 患者が切れ目のない医療・介護サービスを受けるための在宅医療の後方支援
- 近隣の医療機関や介護施設等との連携による医療と介護の連携モデルの構築
- 非常災害の発生に備えた、地域の医療機関や介護施設等との役割の明確化と連携強化

(年度計画で予定する主な取組)

- ・地域の訪問看護ステーションにつなぐ訪問看護の実施等による在宅医療への後方支援
- ・在宅医療に対する医療連携病床による急変時や再評価入院患者等の受入れ
- ・板橋キャンパス内介護施設や豊島病院等との定例会を通じた医療と介護の連携推進
- ・医療計画を踏まえた、近隣医療機関や介護施設等との連携協議（役割の明確化）
- ・災害等を想定した避難訓練の実施

オ. 安心かつ信頼できる質の高い医療の提供

- 高齢者の精神疾患患者に対する医療の充実や高齢者の特有の疾患に対応するため、重点医療以外の分野における医療の充実
- 医療の質を客観的に評価するための医療の質の指標（クオリティーインディケーター）の確立
- 医療事故防止対策並びに院内感染防止対策に対する、迅速かつ円滑に機能する管理体制の更なる充実

(年度計画で予定する主な取組)

- ・精神科リエゾンチームによるせん妄や抑うつ患者に対する診療
- ・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術など、先進医療の提供
- ・新規透析導入患者や合併症治療患者を対象とした入院（外来）透析の実施
- ・医療の質を検討する委員会の立ち上げ
- ・DWHを活用した医療の質の指標の検討
- ・板橋区感染症危機管理協議会による地域ぐるみでの感染対策の実施
- ・研修会や講演会を通じた、医療安全に関する職員意識の向上

イ. 急性期医療の取組(入退院支援の強化)

- 都の急性期医療施策への参加と特定集中治療室（14床）の効率的な運用による重症患者の積極的な受け入れ
- 入院時から退院後の生活を見据えた計画的な退院支援の実施

(年度計画で予定する主な取組)

- ・急性大動脈疾患や急性脳動脈閉塞に対する超急性期医療の提供
- ・CCUネットワークや急性大動脈スーパーネットワーク、脳卒中救急搬送体制への参加による重症患者の積極的な受け入れ
- ・早期リハビリテーションの実施やクリニカルパスの拡大・運用
- ・退院前合同カンファレンスや地域連携クリニカルパスの活用による計画的な退院支援

ウ. 救急医療の充実

- 都の救急医療施策への参加をはじめ、24時間365日、都民が安心できる救急医療体制の構築
- 救急診療部を中心とした、救急医療の一層の充実

(年度計画で予定する主な取組)

- ・心臓外科手術の24時間体制の構築
- ・救急医療の東京ルールによる患者の積極的な受入
- ・「朝カンファレンス」による研修医の育成
- ・救急隊や近隣医療機関からの意見聴取による問題点の把握と改善

カ. 患者中心の医療の実践・患者サービスの向上

- インフォームドコンセント等の推進による、患者参加型の医療の提供
- 患者満足度調査や退院時アンケート調査を活用した、患者中心の医療の検証

(年度計画で予定する主な取組)

- ・インフォームドコンセントやセカンドオピニオン外来の普及啓発
- ・入院・外来患者を対象とした定期的なアンケート調査の実施
- ・患者サービス向上委員会を中心とする、サービス内容の検証・改善

# 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 第二期中期計画(案)の概要について(2/3)

## (2) 高齢者の健康の維持・増進と活力の向上を目指す研究 <研究> 目標値:トランスレーショナルリサーチ研究課題 5件/年

### ア. トランスレーショナルリサーチの推進(医療と研究の連携)

(年度計画で予定する主な取組)

- トランスレーショナルリサーチ推進室を中心とした病院と研究所の連携強化
- 東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合(TOBIRA)等を活用した産・学・公の連携強化と研究成果の実用化
- 病院部門と連携し、研究部門の研究成果を社会へ還元
- 研究計画の適切な管理と研究テーマ等に関する妥当性の検証

- ・病院部門を含めた横断的な研究支援体制の構築
- ・研究員によるセンター職員への研究・発表支援
- ・TOBIRA構成員をはじめとする外部機関との共同研究の推進
- ・健康増進や尿失禁、低栄養予防プログラムの社会還元
- ・研究進行管理報告会による研究計画の進捗管理
- ・外部有識者による研究成果の評価と研究の妥当性についての検証

### イ. 高齢者の特有な疾患と生活機能障害を克服するための研究 ウ. 活気ある地域社会を支え、長寿を目指す研究

(年度計画で予定する主な取組)

- センターの重点医療や高齢者特有の疾患に関する基盤研究及び臨床応用の推進
- 高齢者の社会参加や生活支援に関する研究
- 東日本大震災の経験に基づく高齢者支援策の課題分析と今後有用な支援方法の提案

- ・心臓再生医療の実現に向けた幹細胞移植の研究
- ・がんと細胞老化の関係解明や診断法の開発
- ・認知症診断薬の開発や病態解明に関する研究
- ・高齢者の社会参加や虚弱化予防などに関する社会プログラムの開発
- ・認知症や精神疾患のスクリーニングツールの開発や介入研究の実施
- ・看取りや介護における支援策の提案
- ・被災高齢者のメンタルヘルス対策や介護予防体操の提案

### エ. 先進的な老化研究の展開・老年学研究におけるリーダーシップの発

(年度計画で予定する主な取組)

- 老化関連遺伝子の探索や老化抑制化合物の同定及びその機序解明
- 高齢者ブレインバンクを発展させた研究ネットワークの確立と多様な共同研究の実施

- ・老化動物解析による新規老化関連遺伝子の探索や老化メカニズムの解明
- ・活性酸素や抗酸化物質による健康増進や老化予防効果の検証
- ・日本ブレインバンクネットワークの確立
- ・高品位リソースを用いた臨床診断応用研究の推進

### オ. 研究成果・知的財産の活用

(年度計画で予定する主な取組)

- 広報活動などを通じた研究成果の普及啓発と社会還元

- ・公開講座などの開催や研究所シーズ集による研究成果の普及啓発
- ・知的財産管理及び活用のための体制整備

## (3) 高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成

### ア. 法人職員の確保・育成 イ. 次代を担う医療従事者及び研究者の養成 ウ. 地域の医療・介護を支える人材の育成

(年度計画で予定する主な取組)

- 職員の計画的採用と人材育成カリキュラムの体系化
- 技術・成果の継承による次世代の高齢者医療・研究を担う人材の育成
- 地域の医療機関や介護施設等との連携による高齢者の在宅療養を支える人材の育成

- ・民間経験者等の採用、職種別・階層別人材育成プログラムの構築
- ・専門医、看護師など医療従事者の資格取得支援研修・指導体制の充実
- ・臨床研修医や看護師など医療専門職を目指す学生、連携大学院の学生等の積極的な受入れ
- ・介護予防(主任)運動指導員の養成、フォローアップ研修の実施
- ・人材育成の仕組みの構築

## 2. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### (1) 地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化 (2) 適切な法人運営を行うための体制強化

(年度計画で予定する主な取組)

- 機動的な運営を行うための組織体制の確保と職員自らがセンター運営に参画できる体制の整備
- 組織・内部監査体制の強化による経営機能の強化及び透明性・健全性の確保

- ・組織改正、薬剤師の病棟配置
- ・人事考課制度の見直し、職員提案・表彰制度の導入
- ・業務監査体制の確立
- ・組織改正、会議体の見直し、運営協議会・外部評価委員会等の活用

## 3. 財務内容の改善に関する事項

### (1) 収入の確保 (2) コスト管理の体制強化

(年度計画で予定する主な取組)

- 適切な保険請求による収入の確保と効果的・効率的な未収金対策の実施
- 受託・共同研究などの外部研究資金獲得や知的財産の活用
- 部門別等の原価計算実施手法の確立によるコスト分析・管理の実施

- ・DPCコーディングの適正化
- ・未収金回収手順書の作成、過年度未収金のランク付けによる回収
- ・TOBIRAなどを活用した外部資金の獲得
- ・研究シーズ集の作成、特許・ライセンス契約の推進
- ・DPCデータや財務情報等の分析による部門別収支状況の把握、原価計算の実施
- ・診療活動と連動する材料費等の見直し

## ● その他業務の運営に関する重要事項(法人運営におけるリスク管理)

(年度計画で予定する主な取組)

- 個人情報の適切な管理及び事故防止策の実施
- 大規模災害等を想定したBCPや危機管理体制の整備

- ・職員研修の実施、情報基盤整備によるセキュリティの強化
- ・災害時事業継続計画(BCP)の策定、防災訓練の実施、医薬品等の備蓄

東京都健康長寿医療センター 第二期中期計画の概要について(3/3)

I. 予算(平成25年度～平成29年度)

(単位:百万円)	
区 分	金 額
収入	
営業収益	85,964
医業収益	58,695
研究事業収益	1,626
運営費負担金	11,770
運営費交付金	12,478
補助金	863
寄附金	189
雑益	343
営業外収益	356
寄付金	-
雑収益	356
資本収入	2,651
運営費交付金	2,651
長期借入金	-
その他の資本収入	-
その他の収入	-
計	88,971
支出	
営業費用	77,255
医業費用	59,624
給与費	33,438
材料費	15,905
委託費	5,920
設備関係費	1,660
研究研修費	569
経費	2,131
研究事業費用	8,118
給与費	5,543
研究材料費	325
委託費	1,008
設備関係費	463
研修費	18
経費	761
一般管理費	9,513
営業外費用	-
資本支出	8,937
建設改良費	5,077
長期借入金償還金	3,859
その他の支出	-
計	86,192

(注) 計数は端数をそれぞれ四捨五入しており、合計とは一致しないものがある。

II. 収支計画(平成25年度～平成29年度)

(単位:百万円)	
区 分	金 額
収入の部	86,165
営業収益	85,809
医業収益	58,576
研究業務収益	1,548
運営費負担金収益	11,770
運営費交付金収益	12,478
補助金収益	863
寄附金収益	189
資産見返寄付金戻入	42
資産見返戻入勘定	-
雑益	343
営業外収益	356
寄付金	-
雑収益	356
臨時利益	-
支出の部	89,669
営業費用	89,669
医業費用	68,648
給与費	34,556
材料費	15,148
委託費	5,638
設備関係費	9,702
減価償却費	8,219
その他	1,483
研究研修費	542
経費	3,062
研究事業費用	10,805
給与費	5,498
材料費	310
委託費	960
設備関係費	3,250
減価償却費	2,809
その他	441
研修費	17
経費	770
一般管理費	10,216
営業外費用	-
臨時損失	-
純利益	-3,504
目的積立金取崩額	-
総利益	-3,504

(注) 計数は端数をそれぞれ四捨五入しており、合計とは一致しないものがある。

III. 資金計画(平成25年度～平成29年度)

(単位:百万円)	
区 分	金 額
資金収入	92,007
業務活動による収入	85,964
診療業務による収入	58,695
研究業務による収入	1,626
運営費負担金による収入	11,770
運営費交付金による収入	12,478
補助金による収入	863
その他の業務活動による収入	532
投資活動による収入	3,007
運営費交付金による収入	2,651
その他の投資活動による収入	356
財務活動による収入	-
長期借入れによる収入	-
補助金による収入	-
その他の財務活動による収入	-
前期中期目標の期間よりの繰越金	3,036
資金支出	86,866
業務活動による支出	77,929
給与費支出	40,940
材料費支出	16,231
その他の業務活動による支出	20,084
積立金の精算に係る納付金の支出	674
投資活動による支出	5,077
有形固定資産の取得による支出	5,077
その他の投資活動による支出	-
財務活動による支出	3,859
次期中期目標の期間への繰越金	5,141

(注) 計数は端数をそれぞれ四捨五入しており、合計とは一致しないものがある。